アルミ製品・伸銅品・非鉄金属スクラップ

# 関西市場の2022年展望

アルミニウム製品、伸銅品、非鉄金属スクラップの各業界は日々の生活や産業の進展に伴い、大きな役割を担う。世界経済へも影響を及ぼしているコロナ禍は発端から２年余が経過。足元は小康状態にあるとはいえ、事業活動の上で大きな足かせとなっている。関西地区におけるアルミニウム製品流通、伸銅製品流通、非鉄金属スクラップ業界の各団体トップの竹内成介大阪軽金属商協会会長（三和金属代表取締役会長）、久野実大阪伸銅品問屋組合理事長（久野産業社長）、橋本健一郎関西非鉄リサイクル協同組合理事長（橋本アルミ取締役）の３氏に、「2022年のアルミ製品流通、伸銅製品流通、非鉄金属スクラップ業界の課題と展望」を聞いた。　（白木　毅俊）

## 大阪軽金属商協会
## 竹内　成介会長
### （三和金属代表取締役会長）

### 「メーカーと顧客つなぐ役割果たす」
### ペットボトルからアルミ缶置換など　資源循環で新しい潮流も

――まず2021年のアルミ業界の回顧からお願いします。

「21年はコロナで始まりコロナで終わった印象だ。昨秋には衆議院選挙があり、その頃から東京・大阪のコロナ感染者数もようやく抑制され、経済活動が回復基調になってきた。ただ、新型コロナウイルス変異株（オミクロン株）が11月下旬に発見され、その動向が懸念されている。その行方によっては日本のみならず世界規模での経済活動が変わってしまう。政府は水際対策の徹底と3回目のワクチン接種で対応していく方針だが、予断を許さない。一部メーカーのＪＩＳ問題は当協会メンバー各社の業務に大きく影響したが、昨年末時点で８割方収束したと思う。アルミ素材メーカーの足元の業容は多忙で、納期遅れが出ている」

――今年1～3月アルミ地金指標価格は直前四半期比で40円高の３９０円。20年の底値からでは１７０円高となりますが。

「アルミ地金指標価格は６四半期連続の上昇だ。メーカーは昨秋にはロールマージンも引き上げた。大幅な値上げでモノづくりをされている顧客の皆さんが十分に転嫁できるかを懸念しているし、アルミ離れも心配だ。今年４月以降は、ぜひ落ち着いた展開になってほしい。顧客の与信問題も気になる」

――22年の展望を。

「製品値上げは金属だけではなく、食料品など物価全般に及んでいる。今年のアルミ素材メーカー各社は昨年に引き続き業容の忙しさが続く見込み。値上げも強気の姿勢を崩しておられない。需要見通しでは建築建材が大型物件もあり、堅調に推移している。25年には大阪・関西万博があり、その基礎工事で土木やパビリオン建設の動きも出てくる。経済の二極化は年々、鮮明化している。一方、電気自動車の世界規模での台頭や、地球資源の循環化に伴うペットボトルからアルミ缶への切り替えなど、新たな潮流もある。アルミメーカーと顧客の間をつなぐ非鉄流通業者として、その役割を十分に果たしたいと思う」

## 関西非鉄リサイクル協同組合
## 橋本　健一郎理事長
### （橋本アルミ取締役）

### 自動車関連など挽回生産へ
### 「スクラップ需給、一気に引き締まりも」

――橋本理事長は非鉄金属リサイクル全国連合会（非鉄全連、会員２４１社）の会長も兼務しています。21年回顧から聞かせて下さい。

「20年に続き、21年もコロナ感染に悩まされた。ただ、前年度からの学びもあった。20年はコロナ禍という急で深刻な出来事が起こり、なかなか思うような行動が取れなかった。ただ、21年は苦しいながらも理事会やウェブセミナーなどを開くことができた。これは非鉄全連会員の皆さまと、事務局の方の協力と支えのおかげで、感謝している」

――ＬＭＥ銅相場と非鉄市況の総括を。

「21年の年初はＬＭＥ銅相場７８００ﾄﾞﾙ、電気銅建値84万円でスタート。コロナ禍は諸々のワクチン問題（副作用・回数・格差）を含みながらも欧米を中心に接種者数が増え重症化率が低下した。これを好感し3月には銅相場は９千ﾄﾞﾙ台を突破した。４～６月期はワクチン普及に加え、米・中を中心とした金融緩和策を受けて１万ﾄﾞﾙ台を突破。７～９月期は東京五輪対策で各国が右往左往する中でも９千ﾄﾞﾙ台を維持。10～12月期は中国の環境政策やコロナ新株（オミクロン株）の感染再拡大を織り込みつつ、９千ﾄﾞﾙ台を維持した。スクラップ市況は基本右肩上がりだった」

――今年の展望を。

「いわゆる『コロナ＝不景気全般』という概念ではなく、業種間格差による不景気ということが昨年証明されたように思う。飲食・旅行業などの不景気は続くが、在宅ワーク・生活に伴う商品・嗜好品（家電・８千ﾄﾞﾙ近辺、下値は21年スタート時の１万ﾄﾞﾙ近辺と予測している」

自動車・リフォーム関連などは通常時より需要が増えそう。一方、コロナ禍で供給は工場の操業停止などが生じ、部品の輸出入が停滞。自動車・給湯・ゲーム機器などはバックオーダー（３カ月から１年待ち）状態が続いている。その生産減少が解消するまで原料のスクラップ需給は緩む。ただ、その後は挽回生産により需給が一気に引き締まる可能性が高い。銅相場はコロナ新株感染拡大、北京オリンピック問題による欧米中の対立、米中の金融政策、各国の原材料高騰抑制策など問題が多々ある。それらを考えれば上値は最高値届かずの１万ﾄﾞﾙ近辺、下値は21年スタート時の８千ﾄﾞﾙ近辺と予測している」

## 大阪伸銅品問屋組合
## 久野　実理事長
### （久野産業社長）

### 自動車電動化で伸銅品需要増加
### 「適正価格で安定供給」

――21年の伸銅品業界の回顧から聞かせて下さい。

「ワクチン接種が進んだものの21年はほぼ1年間、新型コロナウイルスの感染拡大で国内経済活動が影響を受けた。ただコロナ禍でも20年と違い、大阪伸銅品問屋組合（会員57社）が扱う伸銅品需要は大きく変わった。20年秋からは自動車・半導体関連需要が急回復し、21年には少しずつだがガス機器、水栓金具、建築金物など住宅関連も上向いてきた。昨年実施した当組合総合部会のアンケートでは、おおむね『21年伸銅品販売数量は20年比で約20％増加した。銅や亜鉛などの相場上伸の影響で、在庫の差益が大きくなったことが奏功し、採算的にも良くなった』という分析だった。しかし、コロナ禍前から比べると決して上振れしたとは言えず、高い生産水準のメーカーと流通とでは温度差があるように思う。メーカーの納期の状況では、銅条や黄銅条が長期化している。一時的に調整はあるが今年も続くとみている」

――コロナ禍での対応は。

「昨年は伸銅業界もテレワークに拍車が掛かった。一昨年に比べて、対応が随分スムーズになり、慣れたように感じる。ただしオンラインやテレワークでの仕事は、やはりが業界にとって実りの多い年であるようにと願っている」

自動車電動化で伸銅品需要増加

「適正価格で安定供給」

――21年の伸銅品業界の回顧から聞かせて下さい。

「ワクチン接種が進んだものの21年はほぼ1年間、新型コロナウイルスの感染拡大で国内経済活動が影響を受けた。ただコロナ禍でも20年と違い、大阪伸銅品問屋組合（会員57社）が扱う伸銅品需要は大きく変わった。20年秋からは自動車・半導体関連需要が急回復し、21年には少しずつだがガス機器、水栓金具、建築金物など住宅関連も上向いてきた。昨年実施した当組合総合部会のアンケートでは、おおむね『21年伸銅品販売数量は20年比で約20％増加した。銅や亜鉛などの相場上伸の影響で、在庫の差益が大きくなったことが奏功し、採算的にも良くなった』という分析だった。しかし、コロナ禍前から比べると決して上振れしたとは言えず、高い生産水準のメーカーと流通とでは温度差があるように思う。メーカーの納期の状況では、銅条や黄銅条が長期化している。一時的に調整はあるが今年も続くとみている」

――コロナ禍での対応は。

「昨年は伸銅業界もテレワークに拍車が掛かった。一昨年に比べて、対応が随分スムーズになり、慣れたように感じる。ただしオンラインやテレワークでの仕事は、やはりが業界にとって実りの多い年であるようにと願っている」

――22年の展望を。

「非鉄金属相場が非常に高い水準であり、今後の動向が気になる。各方面での価格改定（メーカー値上げの転嫁）も焦点となりそうだ。各非鉄金属業界やメーカーにより進み方は違うが、電気やガスなどのエネルギーコストの高騰、梱包副資材および物流費などの上昇を考えると、メーカーの価格改定は我々流通も十分に理解できる。これらの諸コスト上昇は流通サイドも全く同様だ」

「この先の伸銅品需要はＡＩやＩｏＴ、自動車の電動化（ＥＶ）の流れが進み、各分野で伸長が期待できる。各部品は軽薄短小でより高性能なものとなっていく。そのニーズに応えるためにも、我々流通がメーカーと顧客の間に立ち、必要な製品を必要なときに、適正価格で安定供給していくことが大事になる。22年の動向の大切さを改めて感じる」

――22年の展望を。

「非鉄金属相場が非常に高い水準であり、今後の動向が気になる。各方面での価格改定（メーカー値上げの転嫁）も焦点となりそうだ。各非鉄金属業界やメーカーにより進み方は違うが、電気やガスなどのエネルギーコストの高騰、梱包副資材および物流費などの上昇を考えると、メーカーの価格改定は我々流通も十分に理解できる。これらの諸コスト上昇は流通サイドも全く同様だ」

「この先の伸銅品需要はＡＩやＩｏＴ、自動車の電動化（ＥＶ）の流れが進み、各分野で伸長が期待できる。各部品は軽薄短小でより高性能なものとなっていく。そのニーズに応えるためにも、我々流通がメーカーと顧客の間に立ち、必要な製品を必要なときに、適正価格で安定供給していくことが大事になる。22年が業界にとって実りの多い年であるようにと願っている」


160年の、ものづくり
青銅棒・黄銅中空鋳物棒の製造、加工、販売
丸江伸銅株式会社
代表取締役社長　岡田保雄
京都府城陽市長池五社ヶ谷20番地
TEL(0774)52-3309(代)　FAX(0774)55-3228

Sambo
三宝メタル販売株式会社
本　社　〒577-0024　大阪府東大阪市荒本西１丁目４番６号
TEL.06-6618-4520（営業直通）　FAX.06-6618-4515
東京支店　〒100-8117　東京都千代田区丸の内３丁目２番３号　丸の内二重橋ビル
TEL.03-5252-5319　FAX.03-5252-3522
名古屋支店　〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄１丁目２番７号　名古屋東宝ビル９階
TEL.052-231-2801　FAX.052-231-2805

2022 頌春 寅

故銅全般・被覆線・ナゲット
木村金属工業株式会社
代表取締役社長　木村尚史
本　社　〒545-0001　大阪市阿倍野区天王寺町北3-16-9
電話(06)6714-代表3333～6番　FAX(06)6714-3337番
大正倉庫　〒551-0023　大阪市大正区鶴町５-５-１２
電話(06)6555-代表2201番　FAX(06)6555-2205番
E-mail:taisho_warehouse@kimurakinkou.co.jp
有田工場　〒643-0034　和歌山県有田郡有田川町小島253
電話(0737)52-代表4371～2番　FAX(0737)52-4372番

銅・非鉄原料は
保存版　ホームページはこちら▶　スマホ用
www.kimura-metal.co.jp　PCアドレス　QRコード
木村金属株式会社
〒551-0023　大阪市大正区鶴町1-1-61
TEL　06-6552-7840
Eメール　kimura-kinzoku@helen.ocn.ne.jp

MS
伸銅品：板・条・棒・線・二次加工品
アルミニウム：アルミ押出形材
三谷伸銅株式会社
代表取締役社長　神林浩一
本社・工場　京都市南区上鳥羽大柳町１番地１
TEL075-681-3331　FAX075-681-5186
営業部　京都市南区上鳥羽大柳町１番地１
TEL075-681-5205(ダイヤルイン)　FAX075-681-5186
東京支店　東京都台東区浅草橋1丁目12-4(東履東峰会館ビル4階)
TEL03-5833-7511　FAX03-5833-7514

otc
New Challenge　Best Quality
これまでも、これからも
新たな挑戦と最高の品質を求め続けていく
株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ
代表取締役社長　杉崎康昭
本社・尼崎工場　〒660-8533　兵庫県尼崎市東浜町１番地　TEL.06-6413-9911　FAX.06-6413-4343
岸和田製造所　〒596-0016　大阪府岸和田市岸之浦町３番２　TEL:072-479-3010　FAX:072-479-3050
東京支社　〒105-0013　東京都港区浜松町1丁目18番16号　住友浜松町ビル8階　TEL.03-5776-3101　FAX.03-5776-3111
https://www.osaka-ti.co.jp/

S.S.ALUMINUM CO.,LTD.
アルミニウム合金地金の製造・販売
エス・エス・アルミ株式会社
代表取締役社長　仲村嘉員
本　社　大阪市西区新町1-33-8　〒550-0013　TEL.06-6532-3310　FAX.06-6532-3390
東京支店　東京都千代田区神田錦町3-11　〒101-0054　TEL.03-3295-3310　FAX.03-3295-3526
名古屋支店　名古屋市中区錦3-6-34　〒460-0003　TEL.052-963-2175　FAX.052-963-3553
工　場　滋賀工場・新城工場・茨城工場　技術開発センター(滋賀工場内)
http://www.ss-alumi.co.jp

非鉄金属・防蝕材料・化学品
山中産業株式會社
代表取締役社長　山中直理
本　社　〒541-0042　大阪市中央区今橋2丁目5番8号 トレードピア淀屋橋　電話　06 — 6125 — 6501 番
東京支店　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町4丁目12番20号 PMO日本橋本町　電話　03 — 5643 — 1743 番
三国製錬事業所、淀川事業所、東京流通センター
http://www.yamanakagroup.jp/

Ogico　産業資材の流通チャンネル
銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル
アルミ・非鉄金属全般
株式会社 扇谷
OHGITANI Corporation
本　社　大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル　TEL(06)6444-1521～1530(ダイヤルイン)
東京支店　東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル　TEL(03)5282-4800
名古屋支店　名古屋市千種区内山3-29-10 千種AMビル　TEL(052)688-0557
海　外　シンガポール、香港、タイ、マレーシア、フィリピン、台湾　中国・深圳、中国・上海、ベトナム
URL:http://www.ogico.co.jp

bsi　ANAB
FS566790/ISO9001:2015
EMS566789/ISO14001:2015
大阪本社・八尾工場のみ対象
創業1919年
素材から加工まで
非鉄の事ならお任せ下さい。
（伸銅品・アルミ・ステンレス）
鉛レス快削黄銅棒・カドミレス快削黄銅棒
鉛フリー快削アルミ合金棒など　RoHS指令対応品も豊富に在庫
※各サイズ取りそろえております。
http:/www.kuno1919.com
久野産業株式会社
大阪本社　〒542-0082　大阪市中央区島之内2－10－27　TEL:06-6211-3331　FAX:06-6212-2556　Mail:osakakross@kuno1919.com
東京支店　〒124-0012　東京都葛飾区立石３－６－７　TEL:03-5654-1051　FAX:03-5670-5201　TEL:0120-157990　FAX:0120-544990　Mail:tokyo@kuno1919.com
東北出張所　〒021-0901　岩手県一関市真柴字吉ヶ沢24—22　TEL:0191-48-4182　FAX:0191-48-4183　Mail:tohoku@kuno1919.com